記者発表資料

平成24年 7月 6日
東北地方整備局
酒田河川国道事務所

日本海東北自動車道

あつみ温泉ＩＣ～鶴岡ＪＣＴが開通して あつみ地区からの救急搬送時間が短縮

日本海東北自動車道の鶴岡市大岩川から鶴岡市友江までの区間において、交流連携の促進や地域の活性化はもとより、災害時における信頼性や安全の確保、さらには観光地へのアクセス性向上や緊急医療圏域の拡大などを目的に整備を進め、平成24年3月24日午後5時に開通しました。

この度、開通３ヶ月後の平成24年6月21日に交通状況の調査を行い、あわせて三ヶ月間の整備効果をとりまとめましたのでお知らせします。

■交通量

国道７号から日本海東北自動車道への交通転換が順調に進み、利用が定着しました。

地点名	交通量			摘要欄
	開通前 (H24.3.21)	開通1ヶ月後 (H24.4.23)	開通3ヶ月後 (H24.6.21)	
日本海東北自動車道(三瀬)	ー	5,900台/日	5,700台/日	無料区間
国道７号（小波渡）	8,800台/日	5,100台/日	5,000台/日	

■開通三ヶ月間の整備効果

・あつみ温泉でＧＷ期間中の観光客が大幅に増加しました。

・あつみ地区からの救急搬送時間が短縮され、患者の安定搬送に機能しております。

・物流事業では輸送ルートの変更により物流輸送頻度が増加しました。

【　発表記者会：酒田記者クラブ、鶴岡記者会　】

問い合わせ先

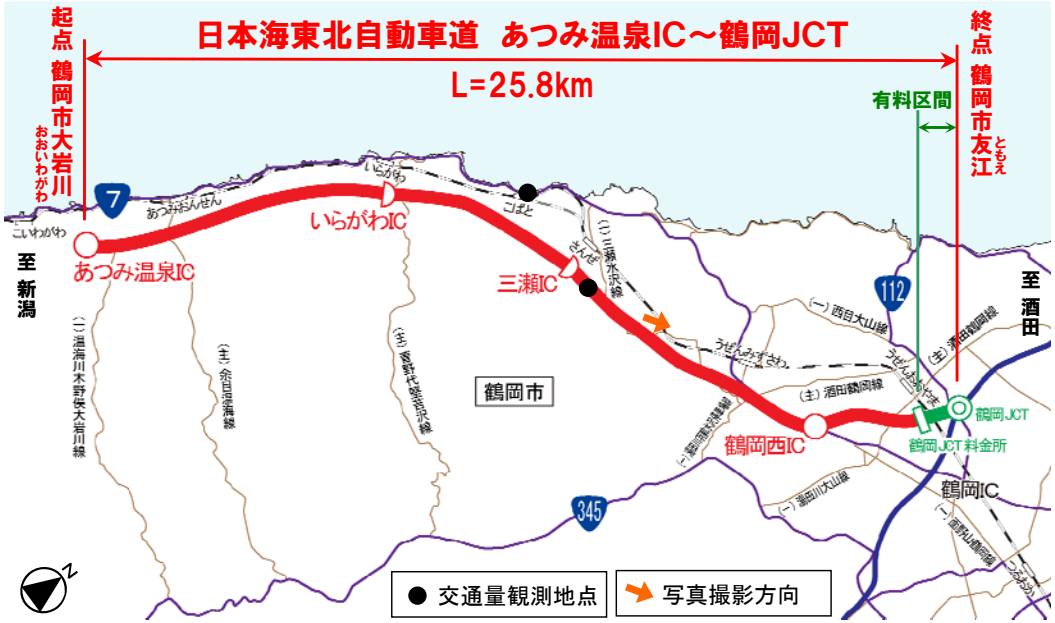
国土交通省　東北地方整備局　酒田河川国道事務所
ＴＥＬ：０２３４－２７－３３３１
道路副所長　伊藤　啓一
調査第二課長　鈴木　久

【開通3ヶ月後】日本海東北自動車道

あつみ温泉IC～鶴岡JCTが開通して

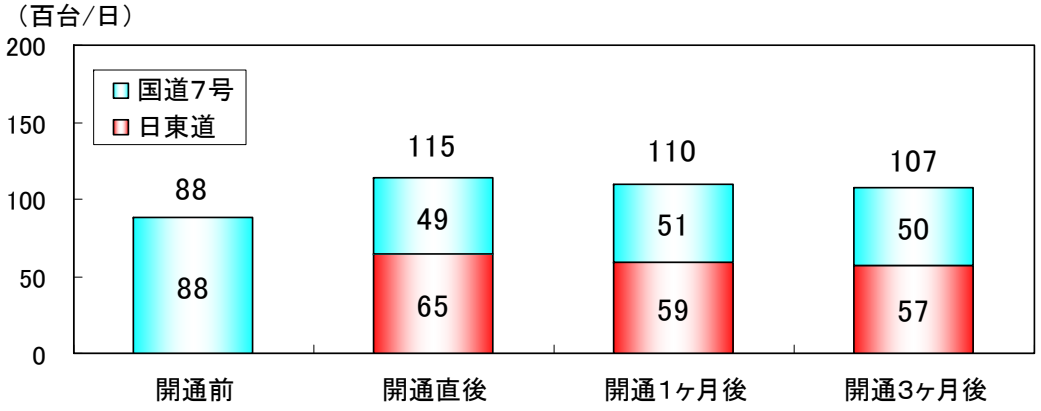
（平成24年　3月24日開通）

①日本海東北自動車道の利用が定着
②あつみ温泉でGW期間中の観光客が増加
③あつみ地区からの救急搬送時間が短縮
④物流ルートの変更による輸送頻度の増加





①日本海東北自動車道の利用が定着



日本海東北自動車道、国道７号における交通量の推移

■並行する国道７号の交通量が減少

開通前
国道7号　：8,800台／日
高　　速：　－　台／日

→

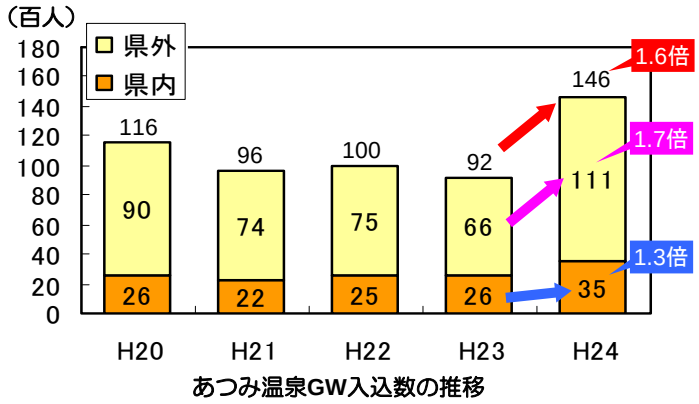
開通３ヶ月後
国道7号　：5,000台／日
高　　速：5,700台／日

事業期間　：　平成９年度～平成２３年度
延　　長　：　２５．８ｋｍ
幅　　員　：　１２．０ｍ（暫定２車）

②あつみ温泉でGW期間中の観光客が大幅に増加

【観光活性化】

○GWの観光客が前年比で1.6倍に増加



あつみ温泉GW入込数の推移



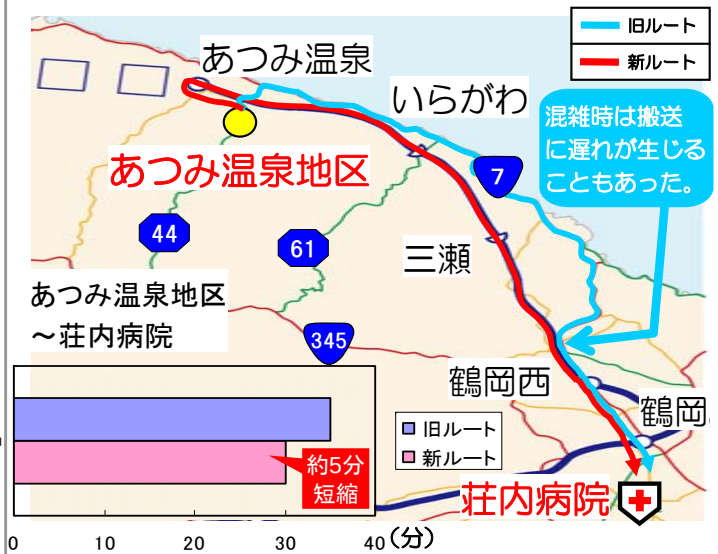
○誘客圏域の拡大等の効果も実感

・4月には、例年より多くの団体バスツアー客が訪れました。
・酒田方面から訪れる日帰り客も増加し、飲食店の利用者数が増えました。
（あつみ観光協会ヒアリング結果より）

③あつみ地区からの救急搬送時間が短縮

【救急搬送の改善】

○あつみ温泉地区～荘内病院までの救急搬送ルート変更例



あつみ温泉地区における搬送時間の変化（ヒアリング結果より）

○患者の安定搬送にも貢献

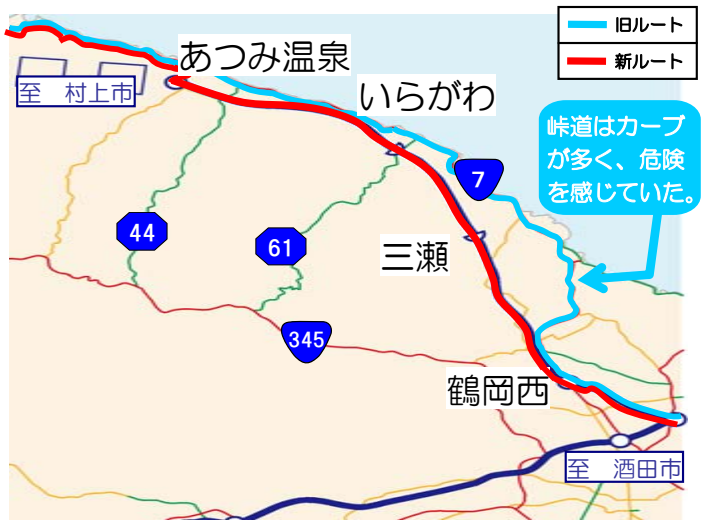
・日東道は路面の状態が良く、急カーブも無いことから、振動による傷病者の身体的負担が軽減され、搬送中の救急処置も施しやすくなりました。
（温海分署ヒアリング結果より）

・日曜、祭日のなど、地元の医院が休診のとき、早く（鶴岡の）病院に行けるので有り難い。　（地元の声より）

④物流ルートの変更による輸送頻度の増加

【物流効率化】

○A社における山形県酒田市～新潟県村上市の物資輸送ルート変更例



○輸送頻度の増加

・山形県酒田市～新潟県村上市の物資輸送頻度が、一日あたり2回から4回に増加しました。
（A社ヒアリング結果より）

○通勤時間が短縮

・あつみ方面から通勤していますが、5～10分通勤時間が短縮され、朝の忙しい時間帯の短縮は有り難い。
（通勤者の声より）